

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	相原たけの子学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市相原町1673(相原小学校校舎内) 【開設年月】2005年 【開館日時】月曜日～土曜日／8時～19時 【建物面積】延床面積 157.71㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 校舎棟内1階部分 【児童数】110名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつを提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	☐ 該当 ☒ 併用 ☐ 非該当	選考方法	☒ 公募 ☐ 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	毎年度	・保護者参加行事ではワークショップを行い、ジャグリングに挑戦する機会をつくった。 ・移動防災教室を実施した。 ・七夕やハロウィンといった季節の行事の実施や万華鏡・スーパーボールの工作などを行い、様々な体験活動に繋がった。 ・一日保育時には近くの公園へ遠足に行き、楽しい時間を過ごした。 ・奉仕活動クリーン作戦としてごみ拾いを実施し、地域をきれいにした。
職員の質の向上を図る	毎年度	・研修の機会がある時には積極的に参加し、常に新しい情報や知識を得ることを心がけ、質の向上に努めた。 ・職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。また「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いて、施設内でのOJTにも力を入れたことで、一人ひとりの意識が高まり個々の質の向上に繋がった。 ・階層別研修を法人内で実施し、職員のスキルアップを図った。 ・人事考課制度を実施し人材育成の強化を図り、質の向上に繋がった。 ・臨時職員も研修に積極的に参加し知識を深め、施設長との面談を実施し意識向上に意識向上に繋がった。
安全管理に努める	毎年度	・感染症対策として、おもちゃの消毒や手洗いうがい・手指消毒・換気・施設の消毒を徹底した。 ・学童通用門のダイヤル式の鍵は、不定期（長くて3か月以内）で番号を変更し安全管理に努めた。 ・ICTシステム「コドモン」を活用し、保護者へ登所・降所の通知が届くことで、子どもの所在が保護者に伝わるようにした。 ・定期的にクラブのおもちゃや校庭の遊具の危険箇所がないかの点検を行い、安全管理に努めた。 ・町田警察署に依頼して不審者対策訓練を実施した。不審者への対応方法を学び防犯対策の強化に努めた。

3. 昨年度の課題

内容	児童の安全性が損なわれる案件が発生した
----	---------------------

【評価対象年度 2023年度】

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)		利用者満足度調査について、全体及びサービス・施設管理面において、ともにA評価の基準を超える95%以上の満足度を得られていることから、非常に高いサービスを提供していると判断できる。保護者参加行事や保護者参観週間の実施など、複数回クラブの様子を発信する機会を設けたことが、結果につながったと考えられる。 利用者満足度調査回収率は90%を超えており、利用者意見の収集に対する取り組み成果がうかがえる。研修の平均受講回数はA評価の基準を超える14.8回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。 昨年度の課題については、法人本部が就業規程に則り、当該職員への厳重注意や指導だけでなく、運営している全学童保育クラブにて事例共有及び研修実施等の対応を早期に講じ、同様の事故は発生しなかった。 業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。 以上のことから、総合評価を「A」とした。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)		・一人帰りの児童が多いため、クラブだよりなどでクラブの様子を詳しく伝えられるよう写真を多用したり、ICTシステムを活用し情報発信を行った。保護者参加行事(7月・12月)や保護者参観週間(11月・3月)を実施し、保護者に子どもたちの様子が見られる機会を増やした。スライドショーの上映も行ない、保護者のクラブへの理解を深め、信頼関係の構築にも努めた。 ・保護者の要望と子どもの様子を見ながら、できる限り学習に集中できる環境を整え、クラブで宿題を終わらせることができるようにした。 ・長期保育や一日保育の際には、工作週間を設け、うちわ・キーホルダー・万華鏡・スライム・スノードーム作り・風作りなど子どもたちが季節の工作を楽しめるように工夫した。夏休みには、夏祭りを計画し実施した。今年度は高学年を中心に夏祭り実行委員会を設置し、子ども中心で夏祭りを企画した。職員と子どものみではあったが、子どもたちはお祭りを通して、準備やお店当番など日頃とは違う体験をすることができた。また、日々の保育の中でも季節の行事を行うなど一年をととして子どもたちが様々な体験活動ができるように取り組んだ。 ・年度末には1年の思い出ができるよう相原中央公園へ行き、土手をかけ登ったり芝生で走り回ったりした。昼食も公園内で食べた。別日にはスライドショーをみんなで鑑賞して1年を振り返った。みんなで卒会する6年生へメッセージカードをプレゼントした。 ・健全育成委員会に参加し、意見交換や情報共有などをおし地域との交流を図った。 ・夏には町内会のお神輿に、冬には子どもセンターばおのあったかフェスタへ参加し、地域との交流を深めた。

【評価対象年度 2023年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2023年12月1日～12月31日(31日間) 【登録児童数】 90名(調査月1日時点) 【配布枚数】 79枚 【回答数】 72枚 【回収率】 91.1% 【調査方法】 (配布方法)ICTシステム「コドモン」のアンケート機能を使用。未登録の家庭へはおたより袋にて紙面配布。(回収方法) ICTシステム「コドモン」のアンケート回答、紙面は回収箱に投函またはおたより袋にて提出。
------	--

指標1	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	98.6%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	95.5	98.1	98.7	98.6	

指標2	評価基準		目標	結果	評価
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満		95%	96.4%	A
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	91	92	94	95	96
実績値	91.2	95.1	94.9	96.4	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	14.8回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	10.3	14.8	14.3	14.8	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において、A評価の基準を超える95%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており、満足度は高い水準であったことから、全体的に優れた運営を行っている判断できる。学童保育クラブの管理運営において、総合的に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が期待される。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は14.8回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が56.6%であることを「職員調書」で確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曽学童保育クラブでモニタリングを実施し、総勘定元帳の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曽学童保育クラブ外4施設でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

年度		2020		2021		2022		2023		2024	
項目		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	31,830	29,062	31,847	31,153	33,290	32,511	31,494	31,284	21,095	
	特別育成料	370	466	296	438	444	588	549	631	0	
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	32,200	29,528	32,143	31,591	33,734	33,099	32,043	31,915	21,095	0
支出	人件費	28,517	26,102	29,009	28,279	29,796	29,155	28,219	27,875	18,675	
	管理費	740	721	708	664	822	570	854	531	440	
	運営費	527	346	526	291	616	424	670	449	280	
	精算する経費	1,716	730	1,700	594	1,700	940	1,450	916	1,700	
	間接経費	700	627	200	167	800	777	850	741	0	
	計	32,200	28,526	32,143	29,995	33,734	31,866	32,043	30,512	21,095	0
総計(収入-支出)		0	1,002	0	1,596	0	1,233	0	1,403	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0	2.8	2.4	
負債比率	85.6	67.3	66.1	67.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考えます。